

吉川市の洪水について

近年、地球規模の気候の変動により、猛烈な台風や豪雨による風水害が頻発しています。風水害を正しく理解して、対策を考えましょう。

吉川市の洪水の想定

吉川市の洪水の想定では、洪水浸水想定区域を示す「洪水ハザードマップ」と、「浸水継続時間」「浸水想定シミュレーション」を掲載しています。

洪水ハザードマップ

- 対象河川が、想定最大規模降雨によって氾濫した場合に、浸水が想定される区域を示しています。
- 「吉川市広域浸水想定区域図」では対象河川のすべての破堤点による最大浸水深を示しています。

継続時間浸水

- 浸水深が0.5mに達してから最終的に0.5mを下回るまで時間を示しています。

浸水想定シミュレーション

- 破堤点からの浸水の到達時間と範囲を示しています。

対象となる河川

利根川

- 利根川流域の72時間総雨量491mm

江戸川

- 利根川流域の72時間総雨量491mm

中川

- 中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm

荒川

- 荒川流域の72時間総雨量632mm

元荒川・大落古利根川・新方川

- 中川流域の48時間総雨量596mm

※シミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫などを考慮していません。洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



洪水ハザードマップの使い方

1 身近で起こりやすい水害のリスクを知りましょう

- 自宅周辺や学校などの生活圏で、どのような浸水被害が想定されているか、確認しましょう。

2 避難方法を検討しましょう

- 自宅と避難先を確認し、複数の避難経路を検討しましょう。
- 実際に歩いてみて、危険箇所を確認しましょう。

3 洪水に備えましょう

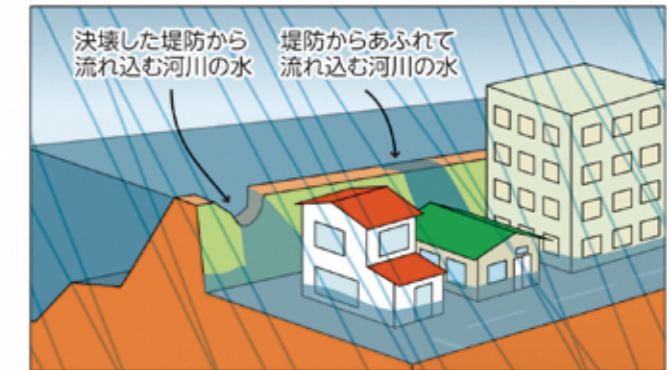
- 備蓄品などの準備や家の補強、家族の連絡方法などを確認しましょう。 → 22ページ～23ページ、36ページ～39ページ参照
- マイ・タイムラインを作成しましょう。 → 45ページ参照



吉川市で想定される風水害

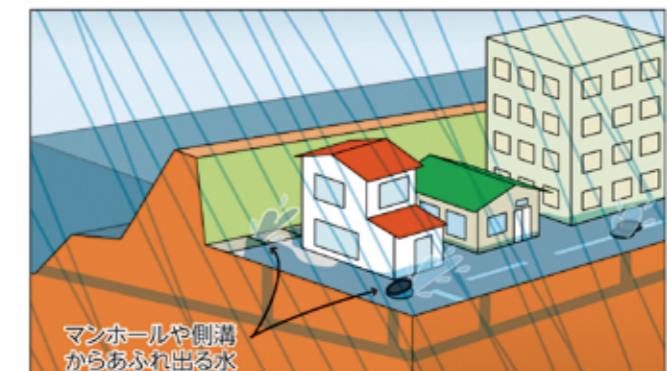
外水氾濫

大雨などで河川の水位が増し、堤防の決壊や越流などで大量の水が市街地などに流れ込む現象です。
河川の上流域で大雨が降ることによって下流の水位も上昇し、外水氾濫が発生することがあります。



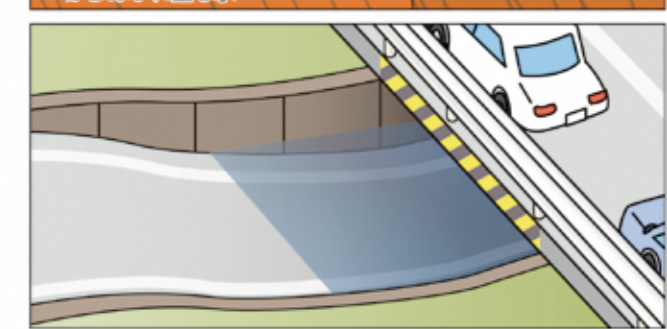
内水氾濫

下水道などの排水能力を超える大雨や、河川の水位上昇により「内水」が排水できず、マンホールなどから水が溢れて浸水する現象です。
局地的な大雨(集中豪雨など)によって、内水氾濫が発生することがあります。



低い道路などの冠水

急激な大雨により、アンダーパスや周囲より低い位置にある道路などで排水能力を超えた場合は、水が満ちて冠水する可能性があります。



雨の降り方と雨量の関係

	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量 (mm)					
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への 影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内	雨の音で話し声がよく聞き取れない			寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	
屋外の 様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車の 運転は	—	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	